

のぞいてみよう  
堺市の生物多様性



アキアカネ

# 堺いきもの通信

2020 秋号

● 堺いきもの通信では  
● 堺のいきものや、生物多様性を  
● もっと多くの人に知ってもらうために  
● 実際に堺市内で見られるいきものを  
● 写真でご紹介します！





9月～11月に堺市内で見られる！



# 堺にすむいきものたち

堺にすむいきものやいきものたちのすみかのことをどのくらい知っていますか？

ここでご紹介する写真はすべて堺市内で撮影された写真です！

生物多様性を楽しく学べるWebサイト「堺いきもの情報館」に、市民の方などからご投稿いただきました。

個性豊かないきものたちや彼らのすみかを見て・知って、堺の生物多様性を感じてみてください！



いろいろないきものを  
もっと見てみたい～！



堺市内にも  
こんないきものが！？



## 生物多様性って？

たくさんの個性豊かないきものたちが  
つながりをもって生きていること

堺市の生物多様性を知るには「堺にはいろいろないきものがいて、いろんすみかがある」と知るところから！



# いきもの知りになろう！

～色違いのバッタと遺伝子の多様性～



クビキリギス (左: 緑色個体、右: ピンク色個体)

写真はどちらもクビキリギスというバッタの仲間です。赤い口元が特徴的で、まるで血を吸ったような見た目から「血吸いバッタ」とも呼ばれています。通常の個体はからだは緑色が茶色ですが、時々ピンク色の個体もいます。どうして個体によってからだの色が違うのでしょうか？それは遺伝子に違いがあるからです。いきものたちにも個性があります。いろんなすみかやいきものが存在するだけでなく、同じ種のいきものたちにも個々の違いがあること。これも生物多様性のひとつであり「遺伝子の多様性」といいます。



キセキレイ



ツチイナゴ

色とりどりの  
いきものがた〜くさん！



オオキトンボ



ツリガネニンジン



モミジアオイ



みんな  
どこでくらしているのかな？

## いきものたちの

## すみか

いきものたちはどこにすんでいるのか？

ぜひ、写真を見ながら考えてみてください。背景に写る景色や風景が大きなヒントです。草、木、水、土など様々な自然環境が写りこんでいて、いきものたちがどんなところで暮らしているのか想像できると思います。草の背丈はどのくらいなのか、木々の茂り具合はどうか、そこはため池や湿地なのか、それとも川なのか…。

実際に、堺市内には草地のある公園やため池、河川、木々が茂る古墳や南部丘陵など、いきものたちのすみかがたくさんあります。きっとみなさんの身近な場所にも、様々なすみかとそこにすむいきものたちがいるはずですよ！



ハリガネオチバタケ

## 秋と生物多様性のおはなし

みなさんは紅葉狩りに行ったことがあるでしょうか。真っ赤に染まる草木は秋だけにしか見られない美しい風景です。

紅葉狩りにより私たちが多くの癒しを受けるように、自然の中でのレクリエーション等を通して精神的な刺激や充足を得ることができるのは、生物多様性による「**文化的サービス**」という恩恵のおかげです。生物多様性とは「いきものたちの豊かさをつながりのこと」で、ある一定のつながりを持ったいきものと自然環境のまとまりを「生態系」といいます。「文化的サービス」とは、この生態系がもたらす恩恵のうちの一つであり、これにより、紅葉狩りやハイキングなどの自然とのふれあいが可能になります。

生態系が我々にもたらす恩恵は生物多様性が保たれてこそ。生物多様性についての理解を深め、身近なところから守っていきましょう。

参考文献：鷺谷いづみ著『<生物多様性>入門』 岩波ブックレットNo.785, 2010/6/9



Webサイト  
トップページ



ユーザーネーム  
sakai\_ikimono

Instagram  
アカウント

≪編集・発行≫

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp